

1. 氏名 大谷良光 オオタニヨシミツ

2. 役職

弘前大学教育学部 前教授

子どものネットリスク教育研究会 代表(旧弘前大学「ネット&いじめ問題」研究会 )

弘大ネットパトロール隊代表

3. 所属研究会・学会等

安心ネットづくり促進協議会特別会員(2009年より)

日本生活指導学会

日本教育方法学会 その他 4 団体

4. プロフィール

1948年 長野県松本市生まれ

1972年 信州大学教育学部卒業

1990年 東京学芸大学大学院教育学研究科修了

1972年 東京都公立中学校着任。以後28年間、生活指導畑で問題行動を抱える生徒と向き合う。

2001年 弘前大学教育学部技術教育講座着任。

2008年 弘前大学ネットパトロール隊設立。青森県、弘前市教育委員会から依頼され「学校裏サイト」等の見守り活動を開始。以後現在まで継続。

2009年 弘前大学「ネット&いじめ問題」研究会設立。弘大ネットパト隊学生、研究会メンバーとともに、講演や出前授業、チラシや冊子の作成等啓発活動や青森県内のネット利用実態調査など実施。以後現在まで継続。

2014年 弘前大学定年退職。ネット活動は、退職後も継続。

2015年 活動の拠点を東京に移し、弘大研究会の継続組織として「子どものネットリスク教育研究会」を設立。

5. ネットに関係する主な著書・論文

○拙著『子どもの生活概念の再構成を促すカリキュラム開発論』学文社 (2008)

○監修・編著『子ども支援者のためのネットリスク教育テキスト』弘大ネットパトロール隊 (2011~2013)

○拙著「ネット・ケータイリスク教育論の試み」弘前大学教育学部研究紀要 111号 (2014)

○共著「ネット毒牙から子どもを守るネット・ケータイリスク教育のカリキュラム開発」マツダ財団報告書 VOL26 (2014)。他多数。

子どもをネット被害から守る研究や活動に参加している研究者は少ないです。その中で教育学（教育方法学や教育社会学）の世界から参加された方は極まれで、多くは情報教育の流れをくむ方です。それらとは異なり、実際にネット問題が起きている学校での生活指導研究の一環として係わってきた研究者も数少ないがいます。私もその一人と自認しています。ですから、私の発想は、今、直ぐに、子どもが最も困っている問題に取り組むものです。